

総領事館からのお知らせ  
(パース市内及び近郊における殺人事件等の発生)

平成29年1月17日  
在パース日本総領事館

先週、パース近郊のスワンバレー近くの Midvale 地区において発砲事件が発生しました。またパース市内中心部においても刺殺事件が発生し、パース近郊の Armadale 地区で刺傷事件が発生するなどナイフを凶器とする事件3件発生したと報じられています。主な事件についての概要は以下のとおりです。

皆様におかれては、外出時には周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

また、当地において、テロ等の危険性は顕在化していませんが、最近の世界情勢に鑑み、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。

(事件概要)

1 Midvale 地区における発砲事件

1月10日(火曜日)午前12時45分頃、Midvale 地区 Ferguson Street の住宅街で、19歳の男性が自宅の外で何者かに銃で足を撃たれて重傷を負いました。この男性はロイヤル・パース病院へ運ばれ、容体は安定している模様です。11日、警察はこの事件の容疑者として37歳の男を Hazelmere 地区の自宅で逮捕しました。この事件については麻薬関連と報道されています。

2 市内中心部での刺殺事件

1月10日(火曜日)午後18時20分頃、市内中心部 William Street のウェズリー教会前で20歳の男性が何者かにナイフで刺され、パース・ロイヤル病院へ運ばれましたが、到着後すぐに死亡が確認されました。警察は10日夜、Nollamara 在住の男を殺人容疑で逮捕しました。

(了)